

# 私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合  
No.26 2016年11月17日(木)

## 山形 私学フェスティバル 今年もパレードと合わせ県民にアピール

11月3日(木)山形では、山形駅西口広場を会場に「山形県私学フェスティバル」が開催されました。

今年も開催日前にラジオでフェスティバルの告知が放送されました。実行委員長をはじめ3年間この活動に携わってきた高校生がその「想い」を発信し、フェスティバル開催を告知しました。

全国父母懇・全国高校生集会開催後のため規模は追えませんでした。フェス開会前にパレードをセットし、私学の学費問題の県民へのアピール度を上げるという新しい試みに挑戦しました。

当日は晴れ時々雨、気温は最高でも14.6℃と肌寒い天候で、午前のパレードは雨の中という悪条件となってしまいました。それでも YPF の高校生は「第二公園→山形駅前通り→山形南アウター→会場(山形駅西口)」のパレードコースを「私学も無償に!!」「学費の公私間格差を無くして!!」と熱く訴えました。そしてフェスの会場では街頭署名を行いました。



雨にも負けず 熱くパレード



東海大山形高校吹奏楽部の演奏

フェスの開会時に山形の運動の成果が現れます。開会宣言の後、山形市の佐藤孝弘市長ご本人が登壇し、ごあいさつをしてくださりました(全国父母懇交流集会でもごあいさつくださいました)。

市長のあいさつ後、東海大山形高等学校吹奏楽部の演奏です。それに続いて、同じ私学ということで「かしのき幼稚園」の年長組さんによる鼓笛隊の演奏が披露され、会場の空気を暖めました。

今年も参加してくれた鼓笛隊の園児に、ありがたい気持ちを表そうとプレゼント(お菓子)を高校生から渡すことになりました。左は高校生と園児の触れ合いの場面です。

この日、舟山康江参議院議員をはじめ、県議会議員、市議会議員の方々がフェスティバルにご参加くださいました。その議員のみなさんを前に「私たちの主張」として教職員代表、父母代表とともに3校3名の高校生が私学の学費問題について訴えました。



わたしたちの主張

「わたしたちの主張」を聞いていただいたうえで、参加議員からあいさつを頂戴し、閉会を迎えます。今年の閉会行事は、総踊り「JOY」を生徒、父母、教員みんなで踊りました。

ここ山形でも県を越えた乗り入れがあり、宮城県の生徒3人が見学に駆けつけました。



幼稚園児の鼓笛隊演奏



園児へのプレゼント



高校生・父母・教職員が一体となったフェスティバル